

いっさいぎょうやま    ごしきぬま  
**コース 34 一切経山と五色沼**

リーダー CL K/T    SL M/T  
 実施日 平成 26 年 10 月 19 日 (日) 快晴  
 参加者 20 (男性 7 女性 13)  
 グレード C  
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:50	阿賀野川沿いに猛烈な霧、好天と予想させられる
浄土平 P	8:25	8:35	磐梯山 SA で靴履替。噴気を上げる一切経山の雄姿に写真タイム
一切経山	10:25	10:35	酸ヶ平を見下す眺望で写真。山頂では“魔女の瞳”バッチリ
五色沼	11:05	11:15	ザレ、ゴロ石帯を慎重に下り、五色沼は違った様相
家形山展望所	11:40	12:40	五色沼越しに一切経山。この風景は、いつまでも見飽きない
太根森	13:15	13:25	ザレと樹林帯を繰返し、迷いやすい所
賽ノ河原	14:45	14:50	太根森から坦々と来た道が、岩石交りで溝状の道。歩きにくい
不動沢 P	15:25	16:00	ここから、天狗の庭にかけて紅葉は盛りを少し過ぎていた
湖見峠展望所	16:35	16:45	夕陽を受けた安達太良連山と磐梯山の眺望が素晴らしい
秋葉区役所前	19:15		磐梯山 SA は改修中。完成が楽しみ

**山行等概要 (幹事のコメント)**

- いつもながら、山行実施段階で悩まされるのが当日の天候。今回も、当初計画の 17 日 (金) は週間予報が出てから、この日だけが終始、雨・曇りマーク。そこで、変更したのが、19 日 (日)。
- 今回の山行の狙いは、一つは家形山からの五色沼と一切経山の展望。もう一つは、下山口の不動沢や、一切経山東斜面の赤ガレと紅葉だった。もともと 17 日でも紅葉は遅気味だったが、更に 19 日と後ろへ送ることで紅葉の方はかなり進んでいるだろうと予想した。その予想どおり、紅葉は最盛期を過ぎていたが、その代わりに、五色沼を上からと真横から、約 4 分の 3 周方向から、じっくりと眺め楽しむことが出来た。
- 当初担当者の念頭にあまり大きくなかった、。浄土平から直ぐの、一切経山と吾妻小富士の眺望。酸ヶ平上方からの大眺望 (酸ヶ平～鎌沼の湿原、東吾妻山～磐梯山の山岳展望)。西大巔～家形山の大展望。磐梯吾妻スカイラインの猪苗代町側の中腹の紅葉や、安達太良～川桁山塊、磐梯山の山岳展望等、今回の山行コースの魅力を余すところなく味わい楽しむことが出来たと思っている。

- 17日の当初計画では参加予定者30名のところ、期日変更で10名減少、その後プラス・マイナスあって結局20名での実施となった。残念ながら参加できなかった10名の方々には大変申し訳ありませんでした。
- 期日変更の実施は担当者の労力、苦勞には大変なものがあり、また参加予定者の皆さんの協力あっての賜でもあります。ただ言えることは、そう度々出来ることではないことをつくづく実感した次第です。
- コースポイント中の「太根森（現地では大根森）の標識板は、2年前の下見の時は「追分」とあり、下見の時は”地図と合わないな”と不思議に思っていた。今回、そこに「太根森」の標識板が立てられており、「追分」の標識が「家形山避難小屋」分岐に移されたのを見て、これでようやく地図と現地との標識が一致し、合点することが出来た。



家形山展望所から”魔女の瞳”と言われている五色沼と一切経山をバックに。  
そこでは、紅葉はもう終わっていた。



# 一切経山と五色沼

(1568) Y/S

去る9月3日「東吾妻山」山行に参加した際、一切経山の荒涼とした山容の素晴らしさに魅せられ参加申込みをしました。

山行は予報に合わせ10月17日から19日に変更され、当日は抜けるような青空となり、これ以上望むべくもない登山日和となりました。

浄土平に到着、凜とした標高1,580mの朝の冷気は登る意欲を掻きたたせ、気持ち引き締まります。

高橋リーダー号令の元、定刻に登山開始、左手に吾妻小富士、右手に一切経山中腹から立ち上る噴煙を見ながら木道を進む中、出発から5分もせず高橋LDからの第1回写真撮影タイムの声、このロケーションはほっておけない。

10分弱で上りが始まり、高度を増すに従い吾妻小富士のお釜が見えるようになり第2回撮影タイム、酸ヶ平避難小屋をぬけるころから登山道に霜柱が見え始め、左手後方に目を移すと、東吾妻山、手前に鎌沼、遠くに磐梯山、西吾妻山と雄大な景色が堪能でき3回目の撮影タイム、そうこうしながら上って行くとガレ場となり、右手に吾妻小富士の噴火口が大きな口を開けているのが見え4回目の撮影タイム。(この後撮影スポット多く回数カウントを省きます)



ほぼ予定通りに広い広い

頂上到着、360度の眺望を満喫、五色沼を見るべく歩を進めると眼前に「魔女の瞳」と絶賛されるコバルトブルーの沼が突然現れ、吸い込まれそうな瞳にただ見入るばかりでした。



ここで小休止を取った後、五色沼まで下り、沼沿いに歩き、分岐して昼食場所である家形山中腹展望所に向かう20分弱の上りがえらくきつくギブアップ寸前でした。

おかげでここからの一切経山をバックにした五色沼の眺めも格別のものになりました。

五色沼を眺めながら昼食を取った後、不動沢に下山開始、沼追分で五色沼と別れてからはひたすら下り、途中50~100cm程の石がゴロゴロした区間もありひざがきつかったのですが何とか遅れることなく登山の終着点である不動沢パーキングにほぼ予定時刻に到着しました。

この後、山の陰で暗くはなっていました、駐車場から10分程にあるつばくろ谷を見にいくと、100m以上もあろうかと思われる切りたつた沢の山腹の紅葉、長さ170mの優美で安定感のあるアーチ造りの不動沢橋、遠くに望まれる福島の町並みのコラボレーションは絶景の一言でした。



楽しい1日を過ごさせていただき、感謝、感謝です。      ありがとうございました！